

## 《30人学級の実現に向けて》

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です（〇〇事務所です）。お近くから恐縮ですが、この場をおかりしまして、日本共産党の政策をお話しさせていただきます。しばらくの間、よろしくお願いいたします。

さて、本日はゆきとどいた教育をすすめるための「30人学級」の実現について、お話しさせていただきます。

みなさん、現在、31人以上の学級で学ぶ子どもたちは、小学校で5割以上、中学校で8割以上もいます。子どもたちを30人以下の学級で学ばせたいという願いは、教育関係者の一致した強い要求となってきました。中央教育審議会が7月26日、「学級規模引き下げ」を求める提言に踏み切ったのは、その象徴的なできごとです。

みなさん、子どもをとりまく状況が大きく変化しています。たとえば家計の悪化と貧困の広がりは、学力の面にも深刻な影響を及ぼしています。丁寧に寄りそいながら教えなければ、勉強に手がかからない子どもが増えています。また、競争的であたたかみを欠く社会や学校の中で、自己肯定感情がもてず、自分の苦しみを内向させたり、他の子どもに攻撃的になったりする子どもも増えていきます。

こうした環境悪化のもとで、1学級40人では無理があります。30人学級になれば、子どもが学習でつまずいたときでも、丁寧に教えることができますようになります。

みなさん、日本共産党は8月4日、来年度から30人学級にすることを求める「緊急提言」を発表しました。30人学級は、国民と共産党が長年求めてきた要求です。「緊急提言」では、「来年度予算編成にもりこみ、30人学級に踏み出すべき」と提案しました。共産党の申し入れに、川端大臣は「提案はありがたいこと。受けとめてがんばっていきたい」と述べました。

みなさん、アメリカは24人、ヨーロッパでも20数人が1学級の人数です。埼玉県でいち早く25人学級を実施した志木市では、「わからないことがあれば、わかるまで質問できる」と好評です。

みなさん、子どもは社会の宝です。子どもを豊かに育ててこそ、日本の未来も輝きます。30人学級の扉（とびら）を開けるため、日本共産党はみなさんとともに、全力を尽くします。30人学級実施を求める請願署名にご協力ください。

以上で、私のお話を終わります。最後に、教育問題に熱心な「しんぶん赤旗」のご購読もあわせてお願いします。ご静聴・ご協力ありがとうございました。